

かがやき通信 64号



地域活動支援センター「かがやき工房」
〒070-0035 旭川市5条通5丁目1690-1
TEL・FAX 0166-29-1294
IP電話 050-3440-0995

主な記事

- ◆玄関改修・パソコン導入 …1P
- ◆工房開所10年を振り返る …2P
- ◆作業報告・2008年始動 …3P
- ◆第49回旭川冬まつり報告 …4P

平成19年度旭川市 地域活動支援センター設備整備等事業



▲段差はスロープに、開き戸は引き戸に改修された外玄関。

改修前の玄関には段差や開き戸など、車椅子や歩行器の利用者や介助者にとって、通過するたびに負担のかかるものでした。改修により段差はスロープに、開き戸は引き戸になり、その負担も軽減されました。

また、今まで使用していました。旭川市独自の事業「平成十九年度地域活動支援センター設備整備等事業」により、かがやき工房では昨年十二月に、「玄関改修とパソコンの新機種入替」という二種の設備整備を受けることが出来ました。

市独自の事業で設備整備 玄関内外改修

パソコン導入

◆私にとつては危なかつた玄関の段差もスロープに改修されて、車椅子でも安心して出入りが出来る様になりました。お陰で工房に通うのが快適になり嬉しいです。(A)

◆玄関改修されたとはいっては出入りには未だ介助が必要となります。私以上に介助者の負担が減ることが、とても嬉しいです。(H)

◆導入以前のパソコンは機種が古く、使うソフトによつてはフリーズする(動作が固まる)等のトラブルが頻



▲導入された新しいパソコン。フル活用して手当もUP!?

たパソコンは機種も基本ソフトも古く動作も遅いものなので、作業中のトラブルも頻繁に起きました。今回導入されたパソコンは、機種も基本ソフトも最新のものと言うわけでは有りませんが、作業効率は飛躍的に向上することでしょう。

◆導入された六台のパソコンは今迄のものと比べると格段に処理速度が速いので、年末の年賀業務、北海道難病連ウェブサイト更新作業、画像処理等で、有効に活用されるのではないかと思います。(O)

繁に起きてしまい、作業を滞らせていました。導入されたパソコンは動作がスムーズになり、そんな心配は殆どなくなりました。但し、操作する本人が「使いこなすのに苦労している」と言っているのが現状です。(T・Y)

▼10年ひと昔と言います。私の人生に於いてこの10年間は、その前の10年間よりは極めて平凡だったような気がします。その前の10年間（正確に言うと15年）は工房に来る前のことですから、病気（クローゼン病）になつた後の日々で自分自身がかなりナーバスになつていた時期もあり、思い出出すと辛くなるのであります。恐れていた病気の再発も無く、その事が私にとって最大のプラス思考となり、いろんな面で自分自身が微量ながらも成長したのではないかと思っています。

楽しかった思い出は数を挙げると数え切れません。が、やはり同じ仲間同士で旅行に行つた時のことや宴会の後、二次会のカラオケで唄つた時等が一番の思い出となっています。

もう一つは悲しいと言うよりも残念に思つてることがあります。新しく工房に入つて来ても、せつかく利用する為に工房へ来ているのに長続きしないですぐに辞める人が多くなつてきていました。

と思います。私自身は何故10年間も居たかと言うと後者のほうが当てはまつていると思います。とはいえる根性も無い私が長く据わつていらるる理由はどこにあるのでしょうか。

かがやき工房も 四月で十周年を迎えます

悲しいこともありました。工房を立ち上げた前難病連旭川支部長の恩田さんの死は、とても計り知れない程のショックを受けたし忘れる事はできません。

10年振り返る ～開所からの主な歩み～

1998.04	全国初の難病患者の為の「障害者地域共同作業所」として開設
1998.11	ホームページ開設
1998.12	24時間テレビ様より、日産キャラバン改造型車「かがやき号」の寄贈
1999.03	「かがやき通信」第一号発行
2000.07	増床工事をして二室になる
2002.06	おぴったに喫茶パストラルオープン
2002.11	大友財団様より、レーザープリンターの寄贈
2004.07	現在地に移転
2004.09	自動車総連を通じて旭川ダイハツモータース様より軽自動車の寄贈
2007.04	「地域活動支援センター」へ移行
2008.03	現在、職員4名、利用者18名

ることです。考えられることのいかけて過ごしてきました。こは重症者も居れば今のところ病状が落ち着いている人も居ます。両者が一緒に作業をする上で、お互いの気持ちは、ある種のわだかまりが全く無い訳ではありません。重症者ほど病院へ行く回数も当然多くその為に休み等も余儀なく生じます。

反面、病状の軽い人は特別な違いがありますが不思議と両事情が無い限り休みも少なく毎日通える訳で、実際はこのようない違ひがありますが不思議と両者との距離は見当たりません。

軽症者は常に重症者を思いやる気持ちを持ち合わせているからでしょう。これからもずっとそういう目線でお互いを思いやる気持ちを大事にしなければいけないと思います。

こういう現状だけれど私達は巧くやっていますが、利用者の日常生活は決して平坦ではない筈です。近い将来に、できることなら体験談等を元に、著書とまではいかないがせめてアルバムを整理して一冊に纏めるまでは、と考えていると仲々退け難く足踏み状態でいるところです。

作業報告

2008年 始動。順調に

かがやき工房では二〇〇八年の「仕事始め」は一月七日からでした。出勤早々、「寒中見舞いハガキ印刷」の注文が入り、新年の挨拶もそこそこに作業に取り掛かる、そんな慌ただしい年明けでした。

一月中旬には定期発行の「障連協にゆーす」の帳合いで済ませて納品しました。その後、次に掲げる二つの「大きな仕事」にチームで取り掛かりました。

あいわプリント様より、 指定ソフトで表データ打込 継続受注に期待!!

今回、あいわプリント様からの依頼で、私は十年振りに一太郎というワープロソフトを使って仕事をすることになりました。約二週間とチョッと掛かりました。担当者（私を含めて四人）が一丸となつて頑張りました。

最初のうちは一太郎の操作を思い出すのに苦労しました。日にちがどんどん過ぎ去るばかりで、作業の方はというと全然はかどらなくて、とても気が焦りました。作業が終盤戦になつた頃から担当者全員が段々慣れてきた感じはしました。今回の作業は単なるデータの打ち込みとは違う、表の作成とその枠内には膨大な人名等を打ち込まなければいけないのに全角で打ち込んでた箇所があつた。また、（ ）カッコ文字の全角、半角の使い方。

作成した表データ



②作成した表内の数字は殆ど半角で打ち込まなければいけないので打ち込まなければいけないのに全角で打ち込んでた箇所があつた。また、（ ）カッコ文字の全角、半角の使い方。

③文字を均等割付で揃える。同じく数字も揃える。

④ページ毎の設定で全ての表枠サイズは同じにする。

⑤罫線の使い方。同じく無駄な線を消去するやり方。

⑥罫線の時に通常か行間かの違いに注意する。

以上の事柄に注意を払いながらの作業でしたが、次回もなるべくなら間を置かない内に是非やってみたいと思いますので、今後のご依頼に多大な期待を抱いております。（担当者一同、記事・K）

①人名を打ち込んだ時に既存のソフトで変換しても原稿通りの漢字が出て来ないという難作業。新たに外字ソフトをインストール等、ひと手間が必要だつた。

このサイトの主なコンテンツとしては「最新情報と行事報告」と「機関紙の記事掲載」になります。今年の更新依頼は、昨年十進める様に心掛けています。

このサイトの主なコンテンツとしては「最新情報と行事報告」と「機関紙の記事掲載」になります。今年の更新依頼は、昨年十進める様に心掛けています。

「北海道難病連ウェブサイトのアセシビリティ化」を進めから早一年が経とうとしています。ウェブページ作成ソフトに頼らずに、文章構成の基本に添った手法を用いて、作業を

『なんれんしおり』の 部会・支部紹介記事を ウェブページ化する。

作業の進め方は、五十ページを超える仕事量を考えて、幾つかの工程に区切り、工程のチェック表を作成し管理す（次項へ）



作業は次の手順で進めました。

- ①テキストデータの準備：印刷用いた版下ファイルから必要な文字情報を抽出。
- ②タグを付ける：文章の構成に添つて、文字列に対し適した『タグ』というコマンドを定義する。

- ③更新用ファイルへの組み込み：タグを受けたテキストデータを、更新用ファイルの所定の箇所に組み込む。
- ④レイアウトの調整：必要に応じてデザインの追加・修正等を行って、ページを仕上げる。
- ⑤ファイルの転送：転送ツールを用いて、仕上げたファイルをインターネット上に転送（アップロード）し、それをインターネット上でレイアウトやリンク等の確認をする。

実際には何れの工程に於いても「文字校正やレイアウトの確認」等の確認作業は欠かせません。担当者（三名）は勿論のこと、他のメンバーにも文字校正等で、大いに協力して頂いたお陰で、二月二十日には、全ページを更新する事が出来てホッとしています。（ウェブ担当者一同、記事・K川）

- ②タグを付ける：文章の構成に添つて、文字列に対し適した『タグ』というコマンドを定義する。

- ③更新用ファイルへの組み込み：タグを受けたテキストデータを、更新用ファイルの所定の箇所に組み込む。

- ④レイアウトの調整：必要に応じてデザインの追加・修正等を行って、ページを仕上げる。

- ⑤ファイルの転送：転送ツールを用いて、仕上げたファイルをインターネット上に転送（アップロード）し、それをインターネット上でレイアウトやリンク等の確認をする。

私はこの冬の大イベントが大好きで、今年も事前に配布されたパンフレットをチェックして、初日のオーブニングイベントの花火ショー「WHITE BOX T（時空旅行）」を見に行つて写真を撮ろうと決めていました。工房での仕事を終えて、歩いて冬まつり会場へと向かいました。途中、芸術的な美しい氷の彫刻や、まるでお洒落な照明器具の様な氷の灯り、アニメのキャラクターや有名人を題材にしたユニークな市民雪像等に目を奪われました。

ステージ上では和太鼓や吹奏楽の演奏が次々と進み、会場には沢山の人々が集まって来ました。売店で甘酒を飲み、冷えた体を温めていると、一番のお目当ての花火が始まりました。次々と三千発の花火が冬の夜空に咲き、幻想的な光景にとても感動しました。寒い冬場は空気が澄んでいるので、夏の花火よりも、不覚にも風邪をひいてしまいました。

開催期間中は連日天候にも恵まれて、来場者数が初めて百万人を超えたそうです。（K山）

今年で49回目を数える「旭川冬まつり」が、二月七日から一日迄の五日間の日程で開催されました。

☆夜空に咲く花火に感動



編集後記

記念して、「かがやき通信の本にする」と言うアイデアも有る様です。実現すると良いですね。（K川&H）

オープニングイベントが行なわれる旭橋横の石狩川河川敷会場に着く頃には、すっかり日も暮れていました。

満十周年を工房の開所記念して、「かがやき通信の本にする」と言うアイデアも有る様です。実現すると良いですね。（K川&H）

使う方の立場にたった福祉用具選びをお手伝い

- ▶介護用品
- ▶福祉機器
- ▶住宅改修
- ▶レンタル業

(財)北海道難病連
福祉機器事業旭川営業所

かがやき旭川

電24-7900

お気軽にご相談下さい